

1 単元名 ネット型ボールゲーム「テニピン」

2 単元の目標

- テニピンの行い方を知るとともに、用具を使ってボールを返球したり、ボールを打ちやすい場所に体を動かしたりして易しいゲームをすることができるようにする。 (知識・技能)
- ラリーを続けたり得点をしたりするために、ボールを打ち返すための方法や打ちやすい場所などについて考えたことを友だちに伝えることができるようにする。
(思考力・判断力・表現力)
- 練習やゲームに進んで取り組み、ルールを守り、誰とでも仲良く運動したり、勝敗を受け入れたり、友だちの考えを認めたり、場や用具の安全に気を付けたりすることができるようにする。
(学びに向かう力・人間性)

3 基盤 (省略)

4 単元計画 (全8時間) (省略)

5 授業の実際

【視点①】なりたい姿をイメージし、自他の課題や変容の自覚を促す

「単元構成と授業構成」の追求

- 昨年度テニピンを行ったが、返球する技能を高めることに苦勞した。そのため、今年度も2バウンドまでに返球すること、キャッチをしてよいことをルールとした。返球が難しい児童はキャッチを繰り返しながらラリーを続けたり、得点を取ろうとしたりしていた。また、児童同士のアドバイスの時にも「まずキャッチして」といった声をかけていた。
- 単元の後半に「ラリーゲーム」と「得点ゲーム」の両方を用意することで、自分の課題に合ったコースを選択できるようにした。児童の希望でゲームを選んだが半分ずつぐらいに分かれた。頑張りたい目標に向かって取り組むことでペア同士の声かけも活発になった。ラリーを続けたい児童は記録が伸びたと喜んでいて。
- 自分の動きと相手の動き、ボールの動きを意識させたかったため、シングルスで行った。一人一人のゲームの回数を確保できるようにコートを用意した。シングルスで動いてボールに追いつける大きさと考えて8m×4mのコートにした。

【視点②】なりたい姿に向かう「基礎感覚や基本技能を高めていくための手立て」の追求

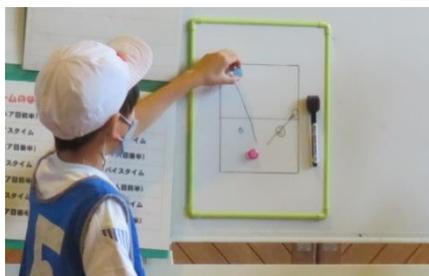
- 単元の最初にバレーボールを素手で打ちラリーのような活動をし、用具と小さいボールを操作する基礎技能を高める前段階のスマールステップとした。道具を使う前に素手で打つことでバウンドして打つといったラリーのリズムをつかむことに繋がった。
- スキルアップタイムでは記録をワークシートに書き、自身の技能の高まりを実感できるようにした。



種目	内容	ねらい
ラケット上手	ボールをワンバウンドさせて上に打つを繰り返す。	ラケットの中心でボールをとらえる。バウンドして打つというリズムをつかむ。
フープをねらえ	コートにフープを置いてそこをねらってボールを打つ。	ねらったところにボールを打つ技能を高める。
ラリーをきわめろ	①壁に向かってボールを打ち、跳ね返ったボールを打つ。 ②ペアでコートを使ってキャッチして打つを繰り返す。できるようになればキャッチなしもする。	①跳ね返ってきたボールに対して、移動し打つ。 ②ラリーを続ける感覚をつかむ。

【視点③】 なりたい姿に近づくための「主体的・対話的で深い学び」の追求

- ペアで1つの作戦ボードを用意してゲームの前に作戦を考えた。コートが書かれたホワイトボードに磁石とマーカーを用意して使わせることで、返球コースや相手の動きを考えることに繋がり、児童同士で活発な話し合いに役立った。一回の返球だけを考えるのではなく、ラリーが続いたときに次にどこに返すのか番号を打ったり矢印をかいたりしながら話し合うことができていた。またゲームの前後半の間に短いアドバイスタイムを設け、そこでも活用できるようにした。



試合（1人目前半）
アドバイスタイム
試合（1人目後半）
アドバイスタイム
試合（2人目前半）
アドバイスタイム
試合（2人目後半）

ゲームの流れ

6 成果（○）と課題（●）

- 単元の最後に「ラリーゲーム」と「得点ゲーム」を選べるようにすることで児童が意欲的にゲームに取り組むことができていた。
- 作戦ボードを使うことで、コートのどこをねらって返球するか、ラリーが続いたときの返球の仕方など活発に話し合うことができた。
- コートが8面あることで30人が交互に試合をすることができ、ゲームの回数を確保することができた。コートの大きさもほどよく、多くの児童がラリーを続けられていた。対戦する際には、左右や前後に打ち分けようとする児童も見られた。
- ワークシート、作戦ボード、ラケット、ボールと使う道具が多く、全てを使いこなすことが難しかった。動きを動画で撮らせ確認させたかったが今年度はやめた。
- ゲームの前後半の間にペアの児童でアドバイスをする時間を設けたが、ラリーの回数や得点の確認になることが多く、ねらいとしたアドバイスをするといったところまでいく時間が少なかった。